



りりぽっぷ幼稚園 週刊園だより

幼稚園 048(794)3104

HPアドレス
<http://wakuwaku-dokidoki.com>

2022年 3月 18日 1198号

年長最終号

卒園おめでとう

— 知恵と工夫でコロナ禍を乗りきった子どもたち —

一気に春めいて、木々や草花に魔法がかかったようにぐんぐん伸びはじめました。幼な子の成長にも似て驚きと共に喜びを感じる毎日です。

当たり前だった日常がコロナに支配された2年数ヶ月。保育の現場も混乱し続けました。入園してからほとんどの年月をコロナ禍の中で過ごした子どもたち。いくつかの行事は体験できずに終わりました。少なからず子どもたちの成長に影響があった事は否めません。大事なこの時期を子どもたちには申し訳ない気持ちで一杯です。

さて火曜日、年長児たちと話す機会を設けました。今年度は1人きりで進学する子が12人、21校に分かれます。小学校入学に向けて期待と不安が入り混じっている子どもたち。何と言っても新しい環境の中での友だち作りが課題です。どうしたら友だちになれるだろうか。そうだ、自分からどんどん声をかけてみよう。まずは座席の前後左右の友だちに「友だちになろう!」って話しかけてみよう。最初は慣れるのに精一杯で緊張の連続です。ちょっと疲れたな、学校に行きたくないなと思うこともあるでしょう。そんな時は、私からのプレゼント「元気の出るコンペイトウ」を食べてね、などなど。

そして、「学校のトイレに入った時、ペーパーが無いと気づいた、みんなだったらどうする?」という話題で大盛り上がりに。ユニークで笑える案がたくさんきました。

「でもね、紙がないとお尻が拭けないってみんなでバ配しているけど、世界にはそれどころではない子どもたちがいるんだよ」とロシアとウクライナの戦争の話になりました。日々のニュースで惨状を目にしている子どもたちの中には、少なからず不安を感じている子もいる様です。子どもたちから「平和」という言葉も聞かれ、驚かされました。子どもは子どもなりに考えているのですね。戦争はあってはならない。でも、大人たちはそうならない様、絶対にみんなを守るからねと伝えました。

これから小学生になる子どもたち。みんなだったらどんな時もどんな事があっても大丈夫。いろいろな力を身につけたのだから。今年は特にグループで力を合わせてやりとげる経験食をたくさん積み重ねてきました。自分の思いを出しながら、みんなの気持ちも大事にし、折り合いをつけて着地点を見つけるという難しいことにもチャレンジしました。そうそう、前倒して天下の上野動物園での自由行動をやってのけたのなもの。

日々、友だちとどうしたらうまくやっていけるか、人として大事なことを学んできた子どもたち。人は1人では生きられないものです。誰かと角触れ合いながら生きていく中で、相手の気持ちや心の痛みをわかってあげられる人になってほしい、きっとなるると信じています。やわらかい感性と思いやりに溢れていた43人の年長さんと共に過ごすことのできた私たちはずせでした。共に遊び、共に笑い、涙してきた私たちには、子どもたちのやさしさに勇気づけられ、なくさめられ、喜びをたくさん分けてしまいました。

これからも子どもたちが訪れた時、一人一人の良さを誰よりも知っている私たちスタッフがいつでも抱きしめてあげたいと思っています。

そして、マスクをはずして笑い合える日が1日も早く来ることを願っています。

(園長)

写真の販売について

3学期の写真の販売です。

〈期間〉 4/25(月)~4/30(木)

〈アクセスコード〉

※詳細は**保存用**をご確認ください。

同窓会について

コロナが落ちついたら同窓会を行お予定です。できる時がきたら手紙でお知らせします。



早春の
流しそうめん
最高!!

感染対策

1回ごとにフォークを
変えて行いました。

